

\*\*\*\*\*

「海の生き物を守る会」メールマガジン No. 71

2011.1.1 (土)

# うみひろも

Association for Protection of Marine Communities (AMCo)

Homepage : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

\*\*\*\*\*

## 「今日の海の生きもの」 アッキガイ *Murex trocheli trocheli*

軟体動物腹足綱新腹足目アッキガイ科に属する巻貝。アッキガイとも言い、悪鬼貝と書く。殻の殻口下端が長く伸びて筒状になり、そこから数列の突起状棘を伸ばす。ホネガイに似た殻の形態をしているが、ホネガイよりは大型になり、ホネガイのような繊細な棘ではない。房総半島以南の暖温帯の比較的浅い海の砂泥底に棲む。肉食で海底に棲む他の貝類などを食べるほか、死んだ魚にも集まり、腐肉を食べる。軟体部は鮮やかな赤橙色に黒い斑点を散らす。肉は食用になるが、色がけばけばしいことや、まとまって多く採れるものではないので市場に出されることはない。この貝を目的にした漁業もない。棘の多いことから底刺し網などにかかりやすく、多くは形の奇抜さから貝類収集の目標となる。



(高知県浦戸にて 向井 宏撮影)

\*\*\*\*\*

目次 「今月の海の生きもの」 アッキガイ

1. 海の生き物を守る会活動予定
2. 海の生き物とその生息環境に関するニュース
3. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報
4. 事務局便り
5. 編集後記

\*\*\*\*\*

# 新年あけまして おめでとうございます

今年も「海の生き物を守る会」の活動をご支援いただけますよう よろしくお願ひ申し上げます

2011年元旦  
「海の生き物を守る会」代表  
向井 宏



## 1. 海の生き物を守る会活動予定

●「海の生き物を守る」講演会および写真展のお知らせ

**守りたい 上関・諫早・辺野古の海**

**日時：1月30日（日）13:30～16:10（13:00開場）**

**会場：ハートピア京都（京都府立総合社会福祉会館）第5会議室**

**講演：**

「瀬戸内海の最後の楽園 長島」 高島美登里さん（長島の自然を守る会 代表）

「諫早湾の干潟再生の意義」 佐藤正典さん（鹿児島大学教授）

「辺野古・大浦湾の海の生き物」 安部真理子さん（日本自然保護協会）

**参加費：無料 定員：50名（先着順）**

期待を抱かせた政権交代であったが、新しい政治はかならずしも海の生き物を守ることに繋がってきてはいないようです。昨年11月に行われた生物多様性条約のCOP10で日本政府は多様性保全に積極的に取り組むと表明したにもかかわらず、その足元ではいまでも貴重な海の自然と生きものが危機に瀕しています。「海の生き物を守る会」では、昨年末に「パタゴニア」からいただいた助成金をもとに、1月30日に現在、緊急の課題となっている上関、諫早、辺野古の海に関する講演会を行います。多くの人の参加を歓迎します。



**「海の生き物を守る」講演会と写真展**

**守りたい  
上関・諫早・辺野古の海**

- **とき：2011年1月30日（日）13:30～16:10**
- **ところ：ハートピア京都（京都府立総合社会福祉会館）地下鉄九条駅と並び**
- **講演**
  - 1. **瀬戸内海の最後の楽園「長島」** 高島美登里（長島の自然を守る会 代表）
  - 2. **諫早湾の干潟復元の意義** 佐藤正典（鹿児島大学教授）
  - 3. **辺野古・大浦湾の海の生き物** 安部真理子（日本自然保護協会）

入場無料  
定員50名（先着順）



主催：海の生き物を守る会

# 海の生き物を守る会 2010年度総会のお知らせ

上記講演会の終了後、同じ場所で海の生き物を守る会の総会を行います。会員と入会希望者はぜひ出席して下さい。16:20～17:00の予定です。

## 1. 海の生き物とその生息環境に関するニュース

### 【全国】

#### ●水産庁が謝罪 クジラ肉横流し 職員を懲戒処分

環境保護団体グリーンピースの職員が、南極海調査捕鯨でクジラ肉を不正に横流ししていたと証拠のクジラ肉を差し押さえて告発したが、逆にグリーンピースの職員が窃盗の罪で青森地裁で有罪になった。そして、検察庁は横流しを受けた調査捕鯨船船員12名についての告発を却下した。その後、グリーンピースの追求で水産庁の職員もクジラ肉の横流しを受けていたことが判明。水産庁では内部調査の結果、水産庁職員5名がクジラ肉を受け取っていたことを認め、職員を懲戒処分とし、記者会見で謝罪した。懲役1年執行猶予3年の判決を受けたグリーンピースの職員は、この判決を不服として仙台高裁に控訴している。グリーンピース・ジャパンの事務局長でクジラ肉裁判の被告でもある佐藤潤一さんは、「今回処分された水産庁職員らは、調査捕鯨船の不正を取り締まる役割の漁業監督官。調査捕鯨を監視する立場にありながら、その監視対象である企業からクジラ肉を長年にわたって受け取っていたことは、この調査捕鯨の怪しさを顕著に表している。このようなひもつきの関係は補助金を絶つことで実現すべき」とコメントしている。

### 【東北】

#### ●「返し波」漁業補償 大間漁協に3億 9000 万円

青森県大間町に原子力発電所が建設されている。その原発専用港の建設によって「返し波」が発生し、地元の漁業に悪影響が出ているとして、大間漁協が電源開発(株)に対して漁業補償を要求していたが、漁協川が3億9千万円の補償額を受け入れることで決着を付けた。当初は12億円を要求していたが、交渉の中で徐々に要求額を引き下げた。この返し波による航行障害では、大間町の奥戸漁協は補償金3億7千万円で、すでに合意している。

#### ●ハタハタの保全訴え護岸に壁画

山形県酒田市の小学校児童とNPOみなと研究会が酒田北港の西護岸に6mの壁画を描き、ハタハタが生息できる美しい海を守ろうと訴えた。参加したのは西荒瀬小学校の5年生ら。壁画は青い海の中を優雅に泳ぐハタハタの姿を描いたもの。

## ●いわきのまちおこしソング「泳げメヒカリ探検隊」

福島県いわき市の魚メヒカリをテーマにしたまちおこしソング「泳げメヒカリ探検隊」という歌が街のギターフェスティバル実行委員会によって作られ、1月8日の「ギターフェスティバル in いわき」で披露されることになった。作詞は小学6年生、作曲はプロのギターデュオ「アマデウス」が担当した。フェスティバルでは作詞をした小学生が歌う。メヒカリはやや深海性の魚で、目が光を反射して光ることから付けられた名前。いわき沖では底曳き網で大量に漁獲されている。

### 【関東】

## ●サケの遡上 例年の5分の1 栗山川

千葉県横芝光町を流れる栗山川では、毎年サケが遡上しているが、栗山川サケ放流事業推進連絡協議会が市内の小学生を招いて12月9日にサケの捕獲と見学会を行った。この見学会は2005年から毎年実施して、遡上するサケを数えている。昨年は650匹のサケの遡上を確認したが、今年は117匹しか獲れなかった。原因は夏の暑さという説もあるが、本当のところはよく分からない。

## ●「三番瀬再生会議」を解散 森田千葉県知事 人工干潟推進か

千葉県の森田知事は、これまで住民参加を基本として三番瀬の再生を図る「三番瀬再生会議」を解散して、それに代わる新たな新組織を作ることを明らかにした。新組織は専門家で構成し、住民の代表や環境保護団体を排除する意向を示している。これは、三番瀬の人工干潟化に抵抗を示す「三番瀬を守る連絡会」などの意見を入れないで、猫実川河口の人工干潟化を推し進めるためと推察される。

### 【北陸】

## ●化石「ベレムナイト」 日本で発見 北陸に北極から寒流が

福井県大野市和泉地区下山の地層から見つかった軟体動物の化石が、ヨーロッパに分布していた化石の「ベレムナイト」であることが福井県立恐竜博物館や国立科学博物館などの調査で明らかになった。日本はもとより東アジアでは初めての発見となる。この化石が日本で発見されたことから、ジュラ紀中期（1億6500万年前）に北極から海流が日本海に流れ込んでいたことの証明になるという。そうすると北陸あたりは寒流と暖流がぶつかり合う場所だったと推定される。

### 【中四国】

## ●撤回求め署名提出 淀江の松林伐採計画

鳥取県米子市淀江町佐陀海岸の松林を民間業者が伐採する計画であることを知り、地元住民らが伐採計画を撤回するよう、300人分の署名を集めて市長に提出した。署名をしたのは

佐陀新田自治会、沖新田自治会などと地元住民で作る「大和を美しくする会」。住民らによると松林は防風林の役割を果たしており、また塩害を防いでおり、住環境の保護や農業にとっても必要だとした上で、「部分的な伐採でも自然破壊につながり、地域住民の被害は計り知れない」と訴えている。伐採が計画されているのは海岸沿いの松林、約 2300 平米の私有地だ。海岸沿いの松林は陸側の住民を風や塩害から守るだけでなく、海岸の砂浜の安定化にも寄与しているはずだ。砂浜の背後の植生を守ることは、海の環境を守ることに繋がる。

## 【九州】

### ●首相が上告見送りを表明 諫早干拓問題

長崎県の諫早湾における国営諫早干拓事業で設置された堰堤の排水門を 3 年間の準備期間後 5 年間常時開放するよう福岡高裁が認めた判決で、農水省は開門試験を行うと同時に上告して争う構えだったが、菅直人首相は上告を断念することを表明した。その結果、判決は確定し、農水省は 2012 年にも開門調査を実施することになった。菅首相は野党時代に何度も現地を視察し、「動き出したら止まらない公共事業」のあり方に批判的な見解を示していた。

一方、強硬に開門調査に反対を唱えていた長崎県の中村法道知事は、福岡高裁の判決が確定したことを受けて、干拓農地を所有する長崎県農業振興公社を原告として国に開門差し止めの訴訟を検討すると明言した。

### ●開門訴訟原告が有明漁協新組合長に

諫早湾干拓事業の潮止め堰堤の排水門開門調査に反対を続けていた長崎県側の漁業組合が、雲仙市の瑞穂漁協が昨年 2 月に開門賛成に方針転換した後、賛成に方針転換する漁協が増えてきた。島原市有明町の有明漁協では、臨時総会を開いて新役員 14 人を選任した。その結果、新組合長に当初から諫早干拓事業に反対していた松本正明氏を選んだ。松本新組合長は、先に判決が確定した開門訴訟の原告の一人。有明漁協はこれまで、諫早湾、橘湾、有明海周辺の 12 漁協の代表者で作る南北高海区漁業共同組合長会といっしょに開門反対の立場をとっていた。しかし、最近、全役員が解任された。今回選任された新理事 11 人のうち 7 人は開門訴訟の原告になった人だという。長崎県の漁協も開門へいっせいに梶を切ることになるだろう。

### ●長浜干拓でのツル給餌を中止 鳥インフルで伊万里市

鹿児島県出水水平野でナベヅルの高病原性鳥インフルエンザが見つかったことを受けて、佐賀県伊万里市では、国指定のツル越冬分散候補地である長浜干拓地で、えさやりを中止し、ツルのデコイを撤去することになった。長浜干拓地はナベヅルとマナヅルが出水平野と行き来していることが判明しており、感染が心配されている。干拓地の出入り口はバリケー

ドで封鎖され、通行止めとなった。伊万里市長は「積極的にツルを受け入れるのを控える」と表明。ツルも人間のご都合主義に苦笑しているかも。

## 【沖縄】

### ●名護市が防衛局の辺野古現況調査を拒否

沖縄県名護市の稲嶺進市長は、11月末に沖縄防衛局が求めていた米軍普天間基地の代替え施設に関わる建設予定地（辺野古）の現況調査について、「代替え施設の建設を前提とした調査には協力できない」と拒否することを表明した。名護市は去年までは現況調査に同意していたが、基地建設反対の公約で当選した稲嶺市長になって、拒否に転じた。防衛局は「拒否回答は遺憾。関係法令にのっとり、しかるべき対応を検討する」と脅しともとれる発言をした。防衛局が求めていた調査は4件。辺野古ダムの水生生物や付着藻類の調査、辺野古漁港内のサンゴや海藻の調査、大浦川のマングローブ内の動植物調査、それに辺野古沿岸部に水中カメラを設置する生物調査。防衛局が現況調査を始めたのは2009年4月の準備書提出後。環境アセスの準備書があまりに杜撰だとしての訴訟も起こされており、準備書の不備を補うための現況調査だった。

## 3. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報

## 【東北】

### ●映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会

衣・食・住これからのエネルギーを考える「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 気仙沼

日時：2011年1月30日（日曜日）

場所：宮城県気仙沼市塚沢72 ([地図](#))

【会場】旧月立小学校（八瀬・森の学校） 気仙沼市塚沢72

【参加費】1000円 【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」上映実行委員会

【問合せ先】菊田省一 0226-27-2036 [tama-cat@k-macs.ne.jp](mailto:tama-cat@k-macs.ne.jp)

## 【関東】

### ●OWS 第54回海のトークセッション「海にすむ、星とキュウリとハリネズミ」

ゲストスピーカー：藤田 敏彦（国立科学博物館動物研究部研究主幹・東京大学大学院理学系研究科准教授）

星形をしたヒトデ、キュウリの形に似たナマコ、ハリネズミのようなウニ、姿や形は全く異なりますが、みな棘皮動物と呼ばれる動物の間です。棘皮動物とはどのような動物なのか、その不思議な形態や生態について紹介します。深海底をじゅうたんのようにおおっているクモヒトデ、古生代の海に咲き



乱れていたウミユリ、これら棘皮動物の多様な姿とその進化について、博物館の研究者が行っている調査や研究の様子も含めてお話したいと思います。

#### 藤田 敏彦 (ふじた としひこ) プロフィール

東京都出身。東京大学海洋研究所において深海生態学の研究で理学博士を取得。水産庁東北区水産研究所で底生魚類の研究に従事した後、国立科学博物館に勤務し、棘皮動物を対象として、系統分類学の研究を始めた。現在は、クモヒトデ類を中心として、日本周辺の深海底や東南アジア海域の珊瑚礁など、様々な環境に分布する棘皮動物の研究を進めている。著書に『ヒトデ学』、『潜水調査船が観た深海生物』など。棘皮動物の不思議さ面白さを広めたいと考えている。



開催日時 2011年2月2日(水) 19:00~20:30 (18:30受付開始)

開催場所 モンベル渋谷店 5F サロン 渋谷区宇田川町11番5号 モンベル渋谷ビル

TEL 03-5784-4005 >>[地図](#)

参加費 800円 定員 40名程度(最少催行10名)

申し込み方法 電話(OWS 事務局 03-5960-3545) またはこちらの[フォーム](#)よりお申し込み下さい。

お申込み ▶▶▶

※キャンセルされる方は必ずご連絡ください。 >> [キャンセルフォーム](#)

### ●映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督トーク in 立教大学

日時：2011年1月16日(日曜日) 開場 14:00 / 上映 14:30

場所：東京都豊島区西池袋 3-34-1 ([地図](#))

【会場】立教大学池袋キャンパス 8号館 8101 教室

【主催】立教大学コミュニティ福祉学部 【問合せ先】[kuga@rikkyo.ac.jp](mailto:kuga@rikkyo.ac.jp)

／事前の申込みは必要ありません。直接開場にお越しください。

### ●映画「祝の島」上映会

「祝の島」こたつ団らんツアー

映画『祝の島』をより日常に近い距離でご覧頂く上映ツアーです。この映画たくさんの方たちに届けたい、という思いから始まりました。上映機材はすべて持ち込み、スタッフが出張して上映する、映画の出前のような新しい試みです。

スケジュールは以下の通り

日時	場所	会場	問合せ先
1月8日(土) 13:00~	東京都目黒区	<a href="#">DIGINNER</a>	03-6421-1517 (DIGINNER 鈴木)
1月9日(日)	東京都杉並区	<a href="#">ぼれやあれ</a>	03-3316-0315 (ぼれやあれ 安彦)



13:30～			
1月10日(月) 14:00～	さいたま市見沼区	東大宮コミュニティセンター和室	<a href="#">エコ見沼事務局</a> 048-637-7250 (豊田)
1月15日(土) 13:00～	茨城県つくば市	さくら民家園	<a href="#">千年先の未来・ツクローかる</a> ttr★knk.web6.jp090-8060-7394(竹重)
1月16日(日) 13:00～	埼玉県越谷市	越谷生活館	090-8170-9674 (元木)
1月21日(金) 19:00～	東京都世田谷区	<a href="#">気流舎</a>	03-3410-0024 (気流舎 加藤)
1月22日(土) 13:00～	千葉市中央区	<a href="#">Wi can</a>	<a href="#">ちばで「祝の島」を観よう!</a> 080-5056-3623 (坂井)
1月22日(土) 19:30～	千葉市美浜区	<a href="#">アースマーケットプレイス</a>	<a href="#">ちばで「祝の島」を観よう!</a> 080-5056-3623 (坂井)
1月23日(日) 10:00～	千葉市美浜区	幸町東県住集会所	<a href="#">ちばで「祝の島」を観よう!</a> 080-5056-3623 (坂井)
1月23日(日) 16:00～	千葉市美浜区	『レオポックル』遊び塾	<a href="#">ちばで「祝の島」を観よう!</a> 080-5056-3623 (坂井)
1月29日(土) 13:10～	滋賀県彦根市	滋賀県立大学交流センターホール	0749-24-4461 (ひこね市民活動センター 山名)
1月29日(土) 未定	横浜市港北区	<a href="#">綱島温泉東京園</a>	080-7044-8011 (ひと∞ひと楽会・安在)

## 【中部・北陸】

### ●映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会

上映会+鎌仲監督・飯田哲也さん・美咲さんトーク&コンサート in 松本市

日時：2011年1月15日(土曜日) 開場 9:30 / 上映 10:00

場所：長野県松本市中央 1-18-1 ([地図](#))

【会場】松本市中央公民館 (Mウイング) / 長野県松本市中央 1-18-1

【参加費】大人前売 1000円・当日 1200円・中学生以下 500円

【主催】ミツバチ松本上映実行委員会 【問合せ先】[神谷](#) / 0263-46-6229 / [asama@jcf.ne.jp](mailto:asama@jcf.ne.jp)

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+in 瑞浪市

日時：2011年1月16日（日曜日）開場 9:30／上映 10:00

場所：岐阜県瑞浪市寺河戸町 1131-2 ([地図](#))

地域交流センターときわ多目的ホール／岐阜県瑞浪市寺河戸町 1131-2／0572-66-1282

【参加費】前売 800 円／当日 1000 円 【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」を観る会

【問合せ先】[早川／0572-52-3525 hamanatu@nifty.com](mailto:hamanatu@nifty.com)

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会＋鎌仲監督トーク in 氷見

日時：2011年2月5日（土曜日）開場 12:00／上映 12:30

場所：富山県氷見市北大町 7-6 ([地図](#))

【会場】ヒミングアートセンター／富山県氷見市北大町 7-6

【参加費】1000 円 【主催】特定非営利活動法人アート NPO ヒミング

【問合せ先】高野／090-3886-7669／[info@himming.jp](mailto:info@himming.jp)

## 【東海】

### ●映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会＋鎌仲監督トーク in 静岡市

日時：2011年1月29日（土曜日）＜昼の部＞開場 13:10／上映 13:30～15:45／監督ト

ーク 15:55～16:40 ＜夜の部＞開場 17:40／監督トーク 18:00～18:40／上映 18:50～21:05

場所：静岡県静岡市葵区御幸町 11-14 ([地図](#))

【会場】サールナートホール／静岡市葵区御幸町 11-14

【参加費】大人前売り 900 円／当日 1200 円、 中・高・大学生料金は主催者に

【主催】「ミツバチ」ブンブン上映実行委員会 【問合せ先】馬場／054-209-2021

## 【近畿】

### ●映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会＋鎌仲監督トーク in 大阪

日時：2011年1月22日（土曜日）開場 13:30／上映 14:00

場所：大阪府高槻市紺屋町 1-2 ([地図](#))

【会場】高槻市立総合市民交流センター／大阪府高槻市紺屋町 1-2

【参加費】一般 999 円／高校生以下.....主催者にお問い合わせください

【主催】高槻ドキュメンタリー映画上映委員会 【問合せ先】江川／072-672-2728

## ぶんぶん通信上映会

「ぶんぶん通信 no.1」上映会＋鎌仲監督トーク in 追手門学院大学

日時：2011年1月8日（土曜日）開場 13:00／上映 13:30

場所：大阪府茨木市西安威 2-1-15 ([地図](#))

【会場】 追手門学院大学・優俊ホール／大阪府茨木市西安威 2-1-15

【参加費】 主催者にお問い合わせください 【主催】 追手門学院大学経済学部

【問合せ先】 今堀／ [maho0927@gmail.com](mailto:maho0927@gmail.com)

## 【沖縄】

### ●海洋酸性化会議サイドイベント

日時：2011年1月16日(日)

会場：万国津梁館(沖縄県名護市喜瀬 1792 番地) <http://www.shinryokan.com/>

主催：環境省

協力：国立環境研究所、琉球大学

予定：13時から ポスター掲示とディスカッション

14時半から 一般向け講演会

モンタレー湾水族館研究所 Peter Brewer 博士

京都大学フィールド科学教育研究センター長 白山義久博士

16時から ポスタートークセッション

18時から アイスブレイカー(簡単なビュッフェ形式懇親会)

参加費：無料ですが、事前登録がないと入場はお断りします。登録先、国立環境研究所地球環境研究センターIPCC2011年会合事務局 [ipccoem2011@nies.go.jp](mailto:ipccoem2011@nies.go.jp) 必ず「海洋酸性化会議サイドイベント参加希望」あるいは「海洋酸性化会議サイドイベントポスター発表希望」とタイトルを書いてください。サイドイベントに登録されても、17日からの本会合は聴講できませんので、ご注意ください。

交通：会場には駐車場がありますが、公共交通機関利用も可能です。那覇から路線バスがあります(20番線、120番線)。高速バス(名護行き)利用の場合は、高速バス停「世富慶」で路線バスへの乗り換えあるいはタクシー利用になります。帰りの那覇行きは、ブセナテラス前バス停 20時が最終です。

## 4. 事務局便り：

- この「うみひろも」は「海の生き物を守る会」のメールマガジンです。配信が迷惑と思われる方は事務局までご連絡ください。
- 企画案などその他なんでも本会の活動に関することは、事務局あてにお寄せください。
- このメールマガジンは、毎月1日と16日の2回発行の予定ですが、都合によって遅延や中止もあります。配信を希望する方、送りたい方がありましたらアドレスをお知らせください。また、パソコンを使えない環境の方には印刷体でもお届けします。その場合は、郵送料をご負担していただくことがあります。
- このメールマガジンは転載自由です。海の生き物に関心を持っている方に広く読んでいただくために転送をお願いします。ただし写真を別の目的で使用する場合は事前にご連絡

ください。海の生き物や守る運動についての情報など、また各地で行われている海の生物の観察会、研修会、その他の行事に関する情報もお寄せください。「うみひるも」のバックナンバーは、ホームページからダウンロードできます。

- 本会は自然観察会や講演会を各地で実施しています。各地で開催を希望される方、開催をお手伝いできる方は、ご一報ください。また、各地の団体との共催も行います。ごいっしょに講演会や観察会をしたいと思われる団体からも提案をお受けします。
- 本会への寄付をお寄せください。寄付も会費も同じ銀行口座「ゆうちょ銀行 口座番号：10610-6673021 海の生き物を守る会」へお送りください。なお、送金される場合は、送金の内容について事務局にお知らせ下さい。

## 5. 編集後記

新しい年になりました。あけましておめでとうございます。今年も「海の生き物を守る会」とメールマガジン「うみひるも」をどうぞよろしくお願い致します。

さっそく1月30日に京都にて講演会および写真展を予定しています。どうぞふるってご参加下さい。

先月16日に「うみひるも」の配信を予定していましたが、私の体調不良のため、配信を中止せざるを得なくなり、ご期待いただいていた読者の方にはたいへん失礼しました。もうほとんど良くなりましたが、パソコンの前に長時間座っているのは無理が生じる可能性があり、「うみひるも」の内容が少し貧弱になってしまいました。何とぞご容赦下さい。また、みなさまからの積極的な情報の提供をお待ちしています。

年の初めにあたり、今年一年の皆様方のそして「海の健康」を心から祈念いたします。

(宏)

**海の生き物を守るためになにかしたい！というあなたに！**

## 会員募集中です！

会員は本会の趣旨に賛同できる個人・団体とします。会費は個人 2,000 円／年、団体 20,000 円／年。匿名による参加も可能です。会員は、当会の名前を使って各地で海の生物とその環境を保護・保全する活動を行うことができ、そのための助成金申請をすることができます。活動は当会の発行するメールマガジンなどを通して広く通知されます。入会希望の方は、事務局 [hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp](mailto:hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp) (向井) まで、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。



メールマガジン『うみひろも』第71号

2011年1月1日発行

発行&編集人「海の生き物を守る会」

代表 向井 宏

〒606-8244 京都市左京区北白川東平井町 23-1

グリーンヒル北白川 23

TEL&FAX:075-703-7205; 090-8563-1501 メールアドレス : [hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp](mailto:hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp)

ホームページ URL : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

銀行口座 : ゆうちょ銀行 口座番号 : 10610-6673021 海の生き物を守る会